

目標一覧（2013年度）（案）

項目	2012年度実績	単年度目標 (2013年度)	中期目標値 (2020年)
①ニートの縮減 サポステによる ニートの就職等進路 決定者数	14,713人	2万人	10万人 ※2011年度～2020年度の 10年間の総計 (参考：2012年度までの 総計 26,878人)
②ジョブ・カード取得者	18.4万人 ※新規取得者数	19.7万人 ※新規取得者数	300万人 ※2008年度～2020年度の 13年間の累計取得者数 (参考：2012年度までの 累計取得者数 85.8万人)
③公共職業訓練(離職者 訓練)の就職率	施設内訓練:80.6% (暫定値) 委託訓練:67.4% (暫定値)	施設内訓練:80% 委託訓練:65%	施設内訓練:80% 委託訓練:65%
④求職者支援制度による 職業訓練の就職率	基礎コース:79.2% (暫定値) 実践コース:77.5% (暫定値)	基礎コース:60% 実践コース:70%	-
⑤自己啓発を行っている 労働者の割合	正社員:47.7% 非正社員:22.1%	正社員:50% 非正社員:25%	正社員:70% 非正社員:50%

○ サポステによるニートの就職等進路決定者数:地域若者サポートステーション利用者の就職等進路決定者数

○ ジョブ・カード取得者数:ハローワーク等でキャリア・コンサルタントがジョブ・カードを交付した数

○ 公共職業訓練の就職率:就職率は、目標設定年度の離職者訓練の修了者等(1か月以下のコースは除く。)に占める、訓練終了3か月後までに就職している者の割合

$$\text{公共職業訓練の就職率} = \text{就職者数} \div \text{修了者数}$$

○ 求職者支援制度による職業訓練の就職率:就職率は、目標設定年度に開始した求職者支援訓練の修了者等(基礎コースは、他の訓練受講中の者及び受講が決定した者を除く。)に占める、訓練終了3か月後までに就職している者の割合

$$\text{基礎コースの就職率} = \text{就職者数} \div (\text{修了者数} - \text{次訓練受講中・次訓練受講決定者数})$$

$$\text{実践コースの就職率} = \text{就職者数} \div \text{修了者数}$$

○ 自己啓発を行っている労働者の割合:[厚生労働省「平成24年度能力開発基本調査」(調査対象年度は平成23年度)]常用労働者30人以上を雇用する事業所より無作為に抽出した事業所に雇用される常用労働者から、無作為に抽出した常用労働者のうち「自己啓発を行った」と回答した者の割合

2013 年度 目標設定における考え方

○サポステによるニートの就職等進路決定者数:20,000人

2012年度の実績に、翌年度の箇所数の伸び率(116→160箇所)などを勘案し、2013年度の目標を20,000人と設定。

○ジョブ・カードの新規取得者数:19.7万人

2020年までに累計取得者数300万人を目標としており、2012年度末で累計取得者数は85.8万人となっている。今後8年間において、毎年度、新規取得者数の実績を、前年度よりも約1割増加させることで、累計取得者数300万人の目標を達成する。そこで、2013年度の目標を19.7万人と設定。

○公共職業訓練(離職者訓練)の就職率:施設内訓練:80%、委託訓練:65%

2020年までの中長期的な目標(施設内訓練80%、委託訓練65%)を継続的に達成し続けることが重要であることから、昨年度に引き続き、施設内訓練80%、委託訓練65%と設定。

○求職者支援制度による職業訓練の就職率:基礎コース60%、実践コース70%

公共職業訓練(委託訓練)や緊急人材育成支援事業による訓練(基金訓練)(2011年度9月末で事業終了。)の就職率を踏まえ、基礎コース60%、実践コース70%と設定。

○自己啓発を行っている労働者の割合:正社員50%、非正社員25%

自己啓発を行った者の割合(正社員:47.7%(前回43.8%。前々回41.7%)、非正社員:22.1%(前回19.3%、前々回18.4%)の実績を踏まえ、達成可能性のある目標として、2013年度の目標を、「正社員:50%、非正社員:25%」と設定。